

NEWS RELEASE

IoT を活用した有害鳥獣捕獲監視装置の フィールド実験の実施について

株式会社STNet(社長:溝渕 俊寛、本社:香川県高松市)は、イノシシ等の有害鳥獣を捕獲する「わな」の監視作業の効率化を目的として、IoT*を活用した遠隔監視装置のフィールド実験を香川県高松市と高知県南国市で開始しました。

* :IoT (Internet of Things)

これまでインターネット等のネットワークに接続されていなかった機器やセンサー等の「モノ」をネットワークに接続し、これらの「モノ」の情報を相互に交換する仕組み。

耕作放棄地や荒廃山林の増加などにより鳥獣による被害は全国で拡大しているなか、両市においてもイノシシ等の個体数が増加し、被害の報告が寄せられている状況です。

これまで、両市では各々の鳥獣被害防止計画に基づいて捕獲を行っていますが、狩猟免許を所有する方が高齢化等により減少しており、山間部に設置しているわなの巡回作業の軽減化が大きな課題となっています。

この度、当社ではこのような課題解決の一助となることを期待して、IoT を活用した監視装置のフィールド実験を両市で実施することとしました。

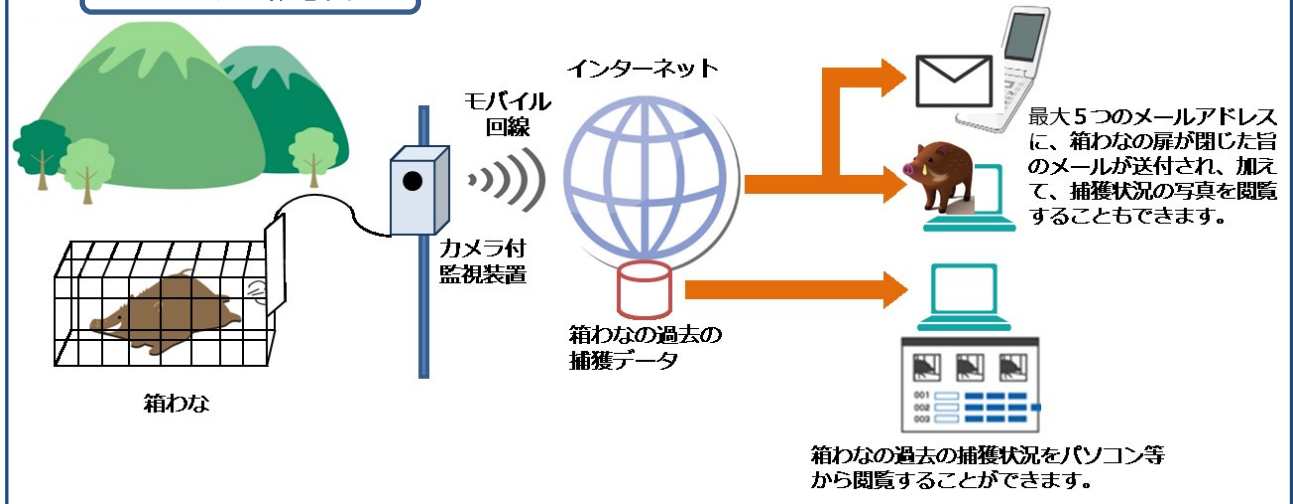
1. フィールド実験の目的

IoT を活用した監視装置の有用性およびその運用性の確認を検証します。

2. フィールド実験でのシステム

今回実験を行う監視装置は、箱型のわな(以下、箱わな)が動作した際に、事前に登録したメールアドレスに通知し、捕獲状況の写真を見ることができます。この監視装置を使うことによって、担当者の見回り回数を減らすことができ、労力が大幅に軽減されることが期待されます。

システム概念図



なお、今回のフィールド実験は、

- ・ 高松市および南国市は、箱わなの提供と運用
- ・ 当社は、監視装置およびモバイル回線の提供と設置を行います。

3. フィールド実験の期間

今後1年間フィールド実験を実施し、IoTを活用した監視装置の有用性および運用性の評価を行います。

当社は、これからもIoTをはじめとした情報通信サービスで地域の皆さまの課題解決にチャレンジしてまいります。

本発表に関するお問い合わせ先

株式会社STNet
経営企画室 事業企画部
(野口・小延)

[電話]087-887-2403 [FAX]087-887-2451

[URL]<http://www.stnet.co.jp>

[Email] iot@stnet.co.jp